

日刊 動労千葉

1988.11.17
No. 2926

国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二（22）七二〇七

11/13 動労水戸 第5回大会開催

動労水戸は、十一月十三日、水戸市・茨城県労働福祉会館において第五回定期大会を元気よく、活発な討論がなされるなか大成功をかちとつた。動労千葉も、水戸の若い労働者の活気あるたたかいを学び、共にたたかひぬこう！

大会は、議長団に、吉田・外岡両君を選出し始まる。委員長あいさつにたった辻川委員長は、「動労水戸はこの二年間三六名が当局―鉄道労連の激しい攻撃の中でガンバリ抜き、本年度は九・三〇ストに起ち上り反撃を開始した。そして、八月には一名新たに仲間が加入し、組織拡大も前進している。こうした闘いによって水戸支社における動労水戸の政治的権威はバググンである。また、天皇Xデーをはじめとする情勢のなかで、来年度の闘いを見すえていかなくてはならない」と檄をとばした。続いて、来賓あいさつ、経過報告、方針提起を受け質疑応答に入った。

①いま水戸支社内でも大小の事故が多発している。とにかく定時運行が重要され、多少の故障でも走らせてしまい、正常な状態で乗務している人は少なくない。鉄道労連のなかにはもっと深刻で「事故をやつたら即、乗務停止」ということが鉄道労連から強制されている。「八九・三ダイ改」では特急のスピードアップ化、新型車両の導入が計画されている。線路はひどい状況であり、新型車両は、ブレーキ、ノッチがいままの型とは全く違うし、時刻表もテレビモニターに映る方式であり、訓練が必要だが、ほとんど時間がなく資料ばかり山積みになっている。職場闘争を強化しよう！

②昇進試験をめぐって職場では矛盾が吹き出ている。鉄道労連で増収・小集団をしていた者が合格しないだとか、四〇才代が落ち、若い者が合格しているなど現場で議論がふつとうしている。

③動労千葉の物販闘争の意義を動労水戸の組合員全員で確認。ある職場では東鉄労の組合員も含め、七、八〇%の労働者が協力した。

④動労水戸の組合員がまた強制配転させられたが九・三〇ストを打ちぬき、勇々しく送られた。何もやってくれなかった国労組合員は怒っている。動労水戸に入って本当によかった。

⑤労連の乗務員が、人身事故を起こし、その帰路、鉄道警察隊が乗りこんできて、乗務中に事情聴取を受けた。

などの意見質問が出された。

動労水戸は、経験も浅い若い組合員が、全員協力のもとにガンバリ抜き、水戸支社の労働者の心を代表している。

11・22 清算事業団強制配属事件地労委
千葉地労委 合本千葉駅
15分 30分

第2回労働学校開催 11/12

動労千葉労働学校第三期第二回講座が十一月十二日、労働者福祉センターに四名の組合員の参加のもと、講師に経済学者の島崎光晴氏を招き、**「世界と日本を讀み解くためにV―また再び戦争は起きるか?―と題して開催された。**

リクルート株疑惑、消費税強行などへの怒りとあいまって、参加者は終始講師の話しに聞き入り、熱の入った講座となった。

はじめに島崎氏は、当日再び122円台の円高ドル安に入ったことを重大なこととことわった上で、「ブラックマンデーとは何だったのか?」と昨年十月十九日発生したアメリカと世界での史上最大の株暴落（これをブラックマンデー（暗黒の月曜日）と呼ぶ）やさらには株とは何か、円高ドル安とは何なのか、という説明を行った。

世界恐慌の危機は 社会変革の好機

そして「ブラックマンデーはなぜ起きたのか?」として、世界経済の第二次大戦後から今日までの仕組みについて話をした。とりわけ戦後世界経済がアメリカの圧倒的な経済力（世界の金の七割を保有）のもとにドルを国際的通貨として再編されてきたこと。そのアメリカ経済が日本とEC（特に西ドイツ）の高度成長の中で没落を開始し、とりわけレーガンの経済政策がアメリカの財政赤字、貿易赤字を急増させる中で、世界最大の債務（借金）国に転落し、アメリカの金融が破産したことがブラックマンデーとしてあらわれたことを明らかにした。

さらに、鉄・自動車・半導体・航空宇宙産業と続いてきた日米経済対立を日本企業は企業内合理化の徹底的推進（労働者の犠牲の上に競争力を強化してきたことがあきらかにされた。

このように、日本経済の発展は世界経済の破壊的意味をもっていることがはっきりとしてきた。これはブロック化を不可避とするものだ。すでに来年一月に米加（カナダ）自由貿易協定という名でブロック化が始まろうとしている。九二年にはECの経済統一が行われる。アメリカやECへのモノ・カネの輸出が阻止された時、日本経済は破滅にむかう。その時、日本は再び大東亜共栄圏（円ブロック）に暴力的につき進む。消費税と軍大化、天皇の登場こそ戦争への準備だ。

三里塚を基軸に、右翼労働統一反対、闘う労働者の結集で戦争政策と対決しよう。

11・25 木戸君脱退強要事件地労委闘争
千葉地労委 合本千葉駅
9分 30分